



京都 YWCA

5 2019

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

大交流会「ありがとうホール」

～京都 YWCA のいままで・いま・これからを語ろう～



会員活動の場としてのホール

「場所」はその時々思い出と直結しています。京都 YWCA のホールは、1967 年建設以来 50 年間にわたり、そこに集う人たちを静かに見つめ続けてきました。時にはミラーボールが輝くダンスホールとして、初夏と冬のバザー会場として、持続可能な地球環境創造という理念に支えられた楽しいリサイクルショップとして、音楽に合わせてのびのびと親子で体を動かすリズム遊びクラスとして、京都 YWCA 全体の、そして各委員会のさまざまな活動の場でありました。

そんな思い出が詰まったホールが新事業準備のために建て替えられることになりました。そこで京都 YWCA の定期会員集会開催に合わせ、今まで活動を支えてくださった方々とともに思い出を語り、これからの京都 YWCA を思い描く大交流会「ありがとうホール」を 3 月 2 日午後開催しました。

50 年を振り返り 100 年周年に向けて

「京都 YWCA 未来応援募金」のためのチャリティーコーナー、ホール思い出コーナーが設置され、机の上に会員お手製のごちそうが並ぶ会場には、90 名以上の会員・関係者が集いました。オープニングは 40 年以上ホールで活動が続けるコーラスグループ「エコ・ド・Y」による『主はあなたを恵みて守り』です。春の陽射しのような明るさとあたたかさを感じる歌声に会場が包まれた後、「京都 YWCA のいままで・いま・これから」について語る形の 3 部構成で進められました。

「いままでを語る」では、運営委員（当時は幹部委員）としてホール建設に関わった大島^{ひろ}薄子^{うすこ}さん、スリフトセールを担ってこられたカーフ・ロイスさんからのビデオメッセージ、多感な思春期の居場所がホールであった「ティーンズ」メンバーからのメッセージが寄せられました。建設当初からホールが大切な場所であったことがわかります。

「いまを語る」は、現在会員活動を担う各委員会のメンバーによる活動紹介。漫談風あり、ラップダンスあり、実演あり、それぞれ工夫と個性あふれる活動紹介に会場は大いに沸き、盛り上がりを見せました。

「これからを語る」では、今年 11 月南アフリカで開催予定の世界 YWCA 総会に合わせ、世界総会参加経験者と参加予定のユースそれぞれからのメッセージ。そして、4 年後の 2023 年に迎える京都 YWCA 創立 100 周年とその先を思い描くミニワークショップを行いました。「100 周年記念事業募集！」には、京都 YWCA で過ごした留学生を訪ねる世界ツアーや、地域を巻き込んで行うチャリティーマラソンなど、大きく夢が膨らむものから、会員インタビュー集や記念誌作成といった堅実的なものまで、アイデアが次々出されていました。クロージングは、10 年間毎年ホールでライブを行ってきた音楽工房「京の音屋」をゲストに迎えたパーティータイムです。来る春、行く春を想う歌に、参加者はそれぞれの思い出を胸に抱きつつ、感謝をもって共に京都 YWCA の将来像を描く一日となりました。

(別所加恵)



おいしいものを手に交流が進みます



会場からは楽しい 100 周年記念事業案が出来ます



未来を担うユースたちからのメッセージ



ライブで盛り上がりました

ごあいさつ

京都 YWCA 私たちのいま

2019 年度京都 YWCA ミッション推進活動部門運営委員会 会長 弘中奈都子

京都 YWCA は世界の YWCA 運動に連なる日本 YWCA と連携し、委員会制度で活動を行っています。今年度私たちのめざすものとして、以下を引き続き掲げて活動していきます。

- 女性や子どもの人権が守られる社会
- 多様性を尊重し異なる文化や背景を持つ人々と共に生きる社会
- あらゆる暴力を否定する社会
- 「核」のない持続可能な地球環境



ミッション推進活動部門を担う運営委員会は、日本 YWCA の 2035 年に向けたビジョンである「地域 YWCA を主体とした活動：LA (Local Action)」として、会員のパワーアップを考える取り組みを、名古屋・大阪・神戸 YWCA とともに進めています。「会員のスキルアップ」および「組織理解促進」を統合して、研修プログラムへとつなげます。「ユース育成」の検討も行います。これらは、地域 YWCA が互いに共通した目標を達成する力を強化することにもつながる活動です。

ボランティア募集説明会は、年間 4 回に増やして実施します。京都 YWCA の活動に関心を持ちボランティアを希望する方々、すでに活動を始めている人に YWCA 全体の説明を行うと共に、説明する側の会員のスキルアップや組織理解を図る機会としての機能を持っています。副次的効果として、複数の委員会による合同プログラムの実施に繋がっています。

2019 年度には 4 年後に迎える創立 100 周年を視野に入れつつ、新事業（2020 年度保育園開園予定）を控え、従来の活動の在り方を見直し、新たな歩みを見とおす時期と捉えています。昨年でバザーやスリフトセールは一旦ピリオドを打ちました。ホールとも別れを告げ、新しい建物の建設に歩を進めています。今年度の歩みを始めるにあたって、これまで京都 YWCA を支えてくださった内外の方々、今後出会うであろう人々に思いを致し、ご挨拶とさせていただきます。

離任のごあいさつ

「カルーナ」から「カルーナ」へ

京都 YWCA の皆さんには、在職中は大変お世話になりました。

当初の目的である「自立援助ホーム・カルーナ」での研修にとどまらない、幅広い体験をさせていただいたことを心から感謝しています。思い出せば楽しかったことばかりです。

事務所受付に座れば、日本語クラス「洛楽」への問い合わせや来館者対応、中学 1 年程度の英語力を駆使してのチンプンカンプンなお返事。本館キッチンで仕込み中のかふえボランティアさんのお料理談義。留学生たちの入退寮の際にも、これまたブロークン英語で対応。小学生の居場所プログラム「ガジュマルの樹」の子どもたちと走り回った、ホールや野や山。高齢者住宅「サラーム」の皆さんとの度々のお食事会では、素敵な青春時代、バリバリの現役時代のお話。そして、カルーナのみんなとの夕食後の語り（語らいというより、演説だったかも?!）。

京都の地には多様性を受け入れる土壌があります。そして間もなく 100 周年を迎える京都 YWCA の内にもその包容力がしっかり蓄積されています。1 年半楽しく過ごさせ

ていただいた背景には、このことがあると思っています。改めて YWCA 運動の歴史と発展を見直しました。

新天地、福岡 YWCA では、自立援助ホーム「カルーナ FUKUOKA」の専任スタッフとなります。4 月は 3 人の入居者でスタートしています。総幹事兼ホーム長、職員やアルバイト、そして会員の皆さんとともに、若い女性の生きづらさを少しでも改善できるような仕事に邁進していきます。どうぞ皆さんお支えください。（平城智恵子）



カルーナ FUKUOKA の 3 人娘がお待ちしています。
(筆者中央)

福島プロジェクト「京都で進学を考えよう！」

東日本大震災による原発事故の影響下にある子どもたちを京都に招き、大学見学や京都観光を3泊4日で楽しみました。

今回は福島県だけでなく宮城県からの参加もありました。高校2年生3名、中学2年生2名の計5名が3月28日にやって来ました。

1日目の夕食を兼ねたウエルカムパーティーでお迎えしました。小学生から参加者みんなに「好きなものは？」と質問をあげせかけられて、緊張が和ぎやかな時間を過ごしました。

2日目は生八つ橋作りに挑戦しました。イタリアからの留学生やYWCAで学習支援を受けている子どもたちも参加し、お釜で蒸した生地は「すばやく！」の指示にがんばって生地をのばしました。餡をのせて二つに折れば生八つ橋の出来上がり。抹茶をたてるのにも挑戦し、作った3つの生八つ橋はみんな完食していました。

ぽかぽか陽気だったのでお昼は京都大学学食のテラスで食べました。その後京都大学の学生に図書館や吉田寮を案内してもらいました。「吉田寮に来たなら庭に入っていかなくちゃ」と寮生の方がお庭をすすめてくれました。タイムスリップしたようなカオスな空間にみんな興奮しました。鶏が数羽足元を通り過ぎていき、本当に人が住んでいる

の?と思うほどでした。

3日目は桜が咲きかけている中、南禅寺から哲学の道を歩きました。同志社大学の案内を学生さんからしてもらい、自由散策では、二条城などを楽しみました。最後の夜は京都YWCA会員の家にホームステイをし、京都の暮らしが垣間見られたのではないのでしょうか。

4日目は京都駅の大階段を悠々と下り、試食しながらお土産選びを楽しんでいました。

4日間で多文化人との出会いがあり、参加者は町の歴史にも興味をもってもらったようです。高校・大学への進学について「京都ならいいかも」と思ってもらえたら嬉しいなと思っています。

委員会を越えた協働と多くの援助を得てプログラムは終了しました。ご協力ありがとうございました。

(松田千治)



桜の前にて記念撮影



地域YWCAを主体としたローカル・アクション(LA) 次世代の担い手育成に向けて



京都YWCAは2017年度より地域YWCAを主体とした活動(Local Action: LA)として、大阪、神戸YWCAと連携してユースの育成を検討してきました。会員が高齢化し若い人たちの活躍が少ないこと、活動する学生が就学就職により定着しないこと、リーダーシップ養成システムが確立されていないことなどが各地域YWCA共通の課題となっています。

2018年度、京都YWCAでは中高YWCAとの関係を築くことから課題を解決する糸口を見つけました。全国には37の学校にYWCAが存在し、京都では同志社女子、平安女学院、同志社国際の中学校・高等学校がYWCAに加盟しています。このうち徒歩圏内にある同志社女子、平安女学院 中学校・高等学校と往来して、京都YWCAのオリエンテーションを行い、各学校の活動を紹介してもらうなど交流することができました。夏休みには京都で行われた関西地区中高YWCAカンファレンスに陪席し、京都YWCAの活動を紹介する機会を得ました。お互いを知ることにより、平安女学院が京都YWCAのバザーで募金活動を行ったり、うららかふえで中学生が職業体験をしたり、同志社女子高の生徒が小学生デイキャンプのリーダーを担うなど、中高生が京都YWCAで活動することにつながりました。クリスマス集会では、平安女学院チャブレン古本みさ

さんにメッセージを頂戴し、相互理解が深まりました。

一方、中高YWCA以外の若者に対するアプローチとして、神戸、京都YWCAと共催したOne Campへの派遣が挙げられます。One Campは誰でも参加できるキャンプをコンセプトにしており、自立援助ホームの利用者や多文化ルーツの子どもなど、初めてキャンプに参加するユースも多く、参加者も支援者も楽しみながら多様性を考える場となりました。

2019年度もLAの一環としてユース育成を続けます。4月のイースター集会で同志社女子中高YWCA顧問の生田香緒里さんからメッセージをいただき、世界YWCA会員日集会ではユースの集いを設けて、若者に居場所を提供し



中高YWCAの皆さんと

ます。課題は山積ですが、文字通りYoung Womenが躍動するYWCAを目指して、プログラムの企画や支援体制の充実を図る一年となります。

(平野富希)

「てづくりひろば マルティナさんの編み物教室」終了

京都 YWCA で長年実施されてきた「てづくりひろば マルティナさんの編み物編」が、2018 年度末をもって惜しまれつつ終了しました。

もともと京都 YWCA でドイツ語の講師をしていた梅村マルティナさんは、編み進めるだけで様々な模様ができる Opal 毛糸を使った講座を開き、参加費の一部をアフガニスタンの子ども支援にあてられていましたが、2011 年の東日本大震災後、宮城県気仙沼で心のケアとしてボランティアで「あみもの教室」を開催されました。翌年テレビ番組でその活動が紹介されたことで問い合わせが続き、「てづくりひろば」の参加者は一気に増え、その後も大人気の講座でした。

様々な縁をつないでくれた講座に感謝の気持ちでいっぱいです。



(編集部) マルティナさんを囲んで

「京都 YWCA 未来応援募金」へのご協力をお願い

京都 YWCA が推進する「多世代・多文化および女性・子どものエンパワメント」事業へのご支援を心よりお待ちしております。



郵便振替：01080-9-1566

加入者名：公益財団法人京都 YWCA

*通信欄に「未来応援募金」とご記入ください。

京都 YWCA へのご寄付の詳細は事務所に問い合わせてください。ホームページをご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/support>

賛助員募集！

賛助員になっていただくと、ニュースレター、イベント案内、事業報告書をお送りします。

賛助費（年額）：個人 5,000 円もしくは 10,000 円
団体 10,000 円

ご寄付ありがとうございました。

2019年2月1日から3月31日 寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

井上依子
日本キリスト教団平安教会
日本キリスト教団京都丸太町教会

寺田有古、寺尾鈴子、
社会福祉法人西陣会、北川美里、
手島千景、小宮一子、小杉總子、
小泉小枝、小沢晴美、小林裕彦、
松岡由香子、松原千里、松田千治、
上村達郎、上村和直、植松満里子、
神門佐千子、斉藤佳津子、
斉藤洋子、前川暁、多田節子、
大山悠子、大槻裕樹、定本ゆきこ、
田中君枝、島崎明子、筒井奈都子、
飯田融子、牧野哲治、堀部碧、
木村葉子、柳原亜木、有田孝子、
伊原千晶、福嶋節子、竹岡哲朗、
辻川さとみ

各指定寄付

*未来応援募金

有田孝子、イエニックふたみ、
伊豆蔵孝子、井上勇一、山本千鶴、
小室京子、松永公子、松田千治、
西村佐記子、鍛冶富美子、
中村和雄、田中村子、田中真佐子、
筒井奈都子、日月公子、北垣景子、
宮武美知子、株田中工務店

*親・子育て支援活動委員会

寺田有古

*多文化共生委員会

木戸さやか、寺田有古、大村真弓

APT へ

張善花、大手理絵、森田園子、
神門佐千子、飯田奈美子
株ビーコス

日本基督教団京都上賀茂教会

同志社女子大学宗教部

日本基督教団洛陽教会

福島プロジェクトへ

魚木アサ、柳原亜木、宮武美知子、
岡嶋理華

*自立援助ホーム「カルーナ」

安藤いづみ、井原圭子、
井上摩耶子、白井一美、奥村孝、
奥村敏明、横川幸治、横内和美、
下村泰子、河合ドルーリー由美子、
亀田和代、吉岡恵津子、吉川文一、
吉田紀子、宮川信子、近藤八津子、
近野玲子、桑畑祐治、今村武廣、
佐藤恵、山上義人、山本千鶴、

日本キリスト教団京都丸太町教会
日本キリスト教団京都丸太町教会
シオン会

日本キリスト教団紫野教会教会学校

日本基督教団紫野教会女性会

日本基督教団京都上賀茂教会

日本基督教団室町教会

日本基督教団洛陽教会

日本聖公会京都伝道区信徒伝道協
議会

平安女学院大学聖アグネス礼拝堂

平安女学院中・高宗教センター

京都府更生保護女性連盟

*賛助費

伊藤眞代、辻野茂子、高島照子



3・4月／理事会報告

- 3/6 より煉瓦塀変更、事務所耐震壁設置、ホール解体、本館外壁補修等一連の工事を開始（5月半ばまで）。
- 2018 年度末見込み確認および 2019 年度予算の決定
- 3月の京都市議会で本法人の認可保育園（定員 60 名）2020 年開園が承認された。園舎建設等の工事を含む開園までの具体的な準備を進めている。
- 3/23：あじさい寮（女子留学生寮）新規入居者にオリエンテーションおよび「すけっと」（マンツーマンのサポーター）との交流会を実施。
- 日本 YWCA 地域連携事業第 2 期「会員のパワーアップ計画」のための 4 市 YWCA（神戸、大阪、名古屋、京都）による協働作業の準備開始。
- 自立援助ホーム「カルーナ」：退所者支援を含む自律援助プログラムを計画予定
- 設立 100 周年に向けての準備委員会の立上げを決定。

人々と出会う旅 オルタナティブツアー

タンザニア農村滞在と民族音楽

コスタリカ ピース&エコツアー

韓国の祭りを訪ねる旅

中国緑化の旅



www.myticket.jp info@myticket.jp

株式会社 マイチケット ☎06-4869-3444

〒660-0084 尼崎市武庫川町4丁目27-1

KYOTO YWCA No.550 2019年5月号 (5月1日発行)

発行人：上村兪巳子

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電話：(075)431-0351

FAX：(075)431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

H P：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：(公財)京都 YWCA

定価：1部 50円

発行：奇数月 1日発行